

01

11月 2020

# 神の恵みは流すとまたそれまで以上に 恵まれます。 — 柿の季節に思うこと

by NCM2 CHOIR

全4page



昨年は饗されるのではないかと思うほどあちこちから、柿をいただきました。日本にいたら、こんなにいただくなことはないのではないかでしょうか。でも今年はどこの家でも生り年ではないという情報で、昨年、柿を持って来てくれた友人の一人からは、20個しか、実がついていないというような報告でした。

期待していなかったのに、今年もまた、親しい友人から2週間ごとに20個ぐらいずつ、いただきました。まだ青いけれど、鳥に取られないうちに取ってしまったと言うのです。富有柿で美味しいものでした。きっと彼女は自分の口に入れないので、友人達に配っているのでしょうか。

それをまだ食べ終わらないうちに、先週北カリフォルニアの友人からすてきな長い  
包装のパッケージが届きました。何かと開いたら、こんなに大きくて見事な柿が3  
個、宝石のように輝いて入っていました。



聞けば、送ってくれた友人は彼女の知人宅に行って、私のためにもらってきてくれた  
と言うのです。その柿の木の持ち主はこんな見事な柿があるのに、好きではないのだ  
そうです。郵送料が10ドル50セントかかっていました。彼女の愛を感じながら、  
もったいなくてしばらく飾っておきました。

神の恵みは流すとまたそれまで以上に  
恵まれます。一柿の季節に思うこと

by NCM2 CHOIR



そして今週、電話がありました。「柿をいっぱいもらったから取りにおいで」と。半ば強制的な電話です。近所なので、すぐに馳せ参じて驚きました。私を待っていたのは50個くらいの柿が入った袋でした。その友人も手元に同じくらいの量の柿をもらっていると、あと一袋を見せてくれました。「一人暮らしで食べ切れないから助けてくれ」と言うのです。大喜びでもらいました。

なんでも福音と同じで、シェアすることが好きな私ですが、以前は柿だけはシェアできませんでした。けれど、水が流れないと腐るように恵みは流さないと腐ってしまう、というメッセージを思い出してからは他の人たちとシェアするようになりました。そして不思議にそうするとまた他から入って来ることを経験済みです。

でも今年は自粛生活で、なるべく人と、会わないようにしていることを理由に、しめしめ、我が家だけで食べることができるとほくそ笑みました。というところに、電話です。持つて行ってくれと言った柿をくれた友人からです。

「悪いけど、少し昨日の柿を、返してくれる？ 実は持つて来てくれた人からの伝言をちゃんと聞かなかったものだから。あれは、○○さんにあげてくれというものだったの。もちろん私がもらった分からも返すけど、あなたも、あなたの取り分を取つて少し返して」

「いいわよ。恵みは流さないと腐ってしまうし、また新しい恵みが与えられて、どこからかまた柿が来るのを知つてゐるから」

「神の恵みの」贊美が響き、返しに行きました。きっとまた「柿があるから、持つて行くね」という電話が誰からか、かかってくることでしょう。神様のなさることは最善ですから。

竹下弘美



## 折尾クリスチヤンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00) URL <http://www.oriochristianchurch.net>

メール [oriochurch@outlook.jp](mailto:oriochurch@outlook.jp)